

2024年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年3月15日

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3121 URL <https://www.mbkworld.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 高崎 正年
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理 (氏名) 山崎 佳奈子 (TEL) 03-6434-5540
四半期報告書提出予定日 2024年3月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第1四半期の連結業績(2023年11月1日~2024年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第1四半期	363	20.5	△68	—	△111	—	△112	—
2023年10月期第1四半期	301	△3.1	△62	—	△86	—	△82	—

(注) 包括利益 2024年10月期第1四半期 △97百万円(—%) 2023年10月期第1四半期 △80百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第1四半期	△3.86	—
2023年10月期第1四半期	△2.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期第1四半期	17,052	3,901	22.9	133.29
2023年10月期	13,964	4,028	28.9	137.64

(参考) 自己資本 2024年10月期第1四半期 3,901百万円 2023年10月期 4,028百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2024年10月期	—	—	—	—	—
2024年10月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 2023年10月期は決算期変更により、2023年4月1日から2023年10月31日までの7ヶ月決算となっております。併せて定款の変更により、剰余金配当の基準について、期末配当の基準日を10月31日とする旨を定款に定めております。

3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日~2024年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,550	—	280	—	180	—	120	—	4.10
通期	3,000	—	600	—	400	—	260	—	8.88

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は2023年10月期より決算期(事業年度の末日)を3月31日から10月31日に変更しております。この変更に伴い、2023年10月期は決算期変更の経過期間となることから7ヶ月決算となっております。このため、対前期増減率につきましては記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年10月期 1 Q	29,489,890株	2023年10月期	29,489,890株
② 期末自己株式数	2024年10月期 1 Q	218,871株	2023年10月期	218,871株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年10月期 1 Q	29,271,019株	2023年10月期 1 Q	29,271,176株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・将来に関する記述等についてのご注意

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、前連結会計年度より決算期（事業年度の末日）を3月31日から10月31日に変更いたしました。そのため、当第1四半期連結累計期間（2023年11月1日から2024年1月31日）と、比較対象となる前第1四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年6月30日）の期間が異なりますが、参考数値として記載しております。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ明けによる海外からの渡航者が増加傾向にあり、経済活動の正常化が緩やかに進みデフレからの脱却を目指しつつあります。一方で、東欧・中近東における地政学的リスクを背景とした原材料の価格高騰、中国経済の減速、世界的な金融引き締めなど、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場におきましては、金融緩和政策による低金利により、相対的に安定した利回りを得られる不動産投資へのニーズは高く、投資への需要は底堅い状況が続いております。また、小売・レジャー市場についてはコロナ明けの需要増に伴い、回復の兆しが見えつつありますが、市場の動向には注視していく必要があります。

このような経済状況のもと、当第1四半期連結累計期間の当社グループは、賃貸用不動産を新たに6物件（税抜取得価額合計3,720百万円）を取得し、年間家賃収入11億円体制を確保いたしました。並行して、第2四半期以降の売却益確保のため、保有する賃貸用不動産物件の売却の準備を進めてまいりました。賃貸用不動産の取得・売却による安定的収益の強化に取り組みながら、成長性や社会性の高い企業やプロジェクトの発掘に努め、資本提携や業務提携により、投資会社としての将来性や収益性の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高が363百万円（前年同期比20.5%増）となりました。賃貸用不動産6物件の取得費用129百万円やその他経費により、各段階利益については、営業損失68百万円（前年同期は営業損失62百万円）、経常損失111百万円（前年同期は経常損失86百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失112百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失82百万円）となりました。

報告セグメントごとの業績及び直近の状況は、次の通りです。

（マーチャント・バンキング事業）

当社グループは、当事業部門におきまして、主に国内外の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。

当第1四半期は、賃貸用不動産6物件の取得により、当事業部門の収益の柱であります賃貸用不動産から安定的に得られる賃貸収入が増加いたしました。また、賃貸用不動産物件の売却は、第2四半期以降、積極的に行ってまいりますが、当第1四半期はございませんでした。この結果、売上高337百万円（前年同期比31.9%増）、セグメント利益35百万円（前年同期比119.4%増）となりました。

（オペレーション事業）

当社グループは、当社及び株式会社ケンテン（連結子会社）等において、ボウリング場及び服飾雑貨店の運営を行っております。前期においてインターネットカフェ店舗の運営が終了したことにより当第1四半期連結累計期間の売上高は25百万円（前年同期45百万円）と減少しましたが、セグメント利益は2百万円（前年同期△1百万円）と増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は17,052百万円で、前連結会計年度末に比べ3,087百万円増加しております。販売用不動産の増加654百万円、有形固定資産の増加2,931百万円、現金及び預金の減少803百万円が主な変動要因であります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は13,150百万円で、前連結会計年度末に比べ3,215百万円増加しております。長期借入金（1年以内を含む）の増加3,173百万円、預り敷金保証金の増加30百万円、未払金の増加

22百万円が主な変動要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における親会社株主に帰属する純資産残高は3,901百万円で、前連結会計年度末に比べ127百万円減少しております。配当金の支払29百万円、親会社株主に帰属する当四半期純損失112百万円による利益剰余金の減少142百万円が主な変動要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年12月14日に公表しました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,292,443	488,629
受取手形及び売掛金	4,077	3,741
販売用不動産	—	654,431
商品及び製品	3,228	3,324
仕掛品	5,300	—
原材料及び貯蔵品	1,001	1,045
未収入金	56,365	47,139
その他	212,302	332,175
貸倒引当金	△58,692	△58,633
流動資産合計	1,516,027	1,471,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,029,072	7,760,092
土地	5,785,513	7,042,542
その他（純額）	94,471	38,235
減損損失累計額	△108,400	△108,400
有形固定資産合計	11,800,656	14,732,469
無形固定資産		
著作権利用許諾使用料	174,844	169,603
その他	3,840	3,689
無形固定資産合計	178,685	173,292
投資その他の資産		
投資有価証券	33,743	60,650
出資金	10,400	10,400
敷金及び保証金	18,731	18,731
長期貸付金	34,495	28,456
長期前払費用	365,136	549,820
繰延税金資産	8,350	8,350
貸倒引当金	△1,650	△1,500
投資その他の資産合計	469,206	674,908
固定資産合計	12,448,548	15,580,670
資産合計	13,964,576	17,052,525

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,470	1,325
1年内返済予定の長期借入金	377,717	486,649
未払金	67,597	90,044
未払費用	15,351	24,970
その他	48,177	35,732
流動負債合計	518,313	638,721
固定負債		
長期借入金	9,306,704	12,371,155
長期預り敷金保証金	104,090	134,692
その他	6,607	6,332
固定負債合計	9,417,402	12,512,180
負債合計	9,935,715	13,150,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,190,167	3,190,167
資本剰余金	811,577	811,577
利益剰余金	92,864	△49,268
自己株式	△65,174	△65,174
株主資本合計	4,029,435	3,887,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	416	694
為替換算調整勘定	△990	13,626
その他の包括利益累計額合計	△574	14,320
非支配株主持分	—	—
純資産合計	4,028,861	3,901,623
負債純資産合計	13,964,576	17,052,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
売上高	301,523	363,214
売上原価	121,143	152,109
売上総利益	180,379	211,105
販売費及び一般管理費	243,350	279,602
営業損失(△)	△62,970	△68,497
営業外収益		
受取利息	685	1,356
受取配当金	2,488	78
為替差益	159	142
受取賃貸料	5,051	2,379
その他	525	4,952
営業外収益合計	8,910	8,908
営業外費用		
支払利息	31,751	49,890
支払手数料	855	2,014
その他	2	△209
営業外費用合計	32,610	51,696
経常損失(△)	△86,670	△111,285
特別利益		
投資有価証券売却益	6,583	519
特別利益合計	6,583	519
特別損失		
事業整理損	1,713	—
特別損失合計	1,713	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△81,800	△110,766
法人税、住民税及び事業税	1,381	2,096
法人税等調整額	△1,364	—
法人税等合計	17	2,096
四半期純損失(△)	△81,817	△112,862
非支配株主に帰属する四半期純利益	331	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△82,148	△112,862

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
四半期純損失(△)	△81,817	△112,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118	278
為替換算調整勘定	716	14,616
その他の包括利益合計	834	14,895
四半期包括利益	△80,983	△97,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,314	△97,967
非支配株主に係る四半期包括利益	331	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(保有目的の変更)

当第1四半期連結会計期間において、保有目的の変更により、有形固定資産の一部（建物426,101千円、土地227,308千円、建物付属設備799千円、工具器具備品223千円）を販売用不動産に振り替えております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2.
	マーチャント・ バンキング事業	オペレーション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	255,767	45,755	301,523	—	301,523
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	255,767	45,755	301,523	—	301,523
セグメント利益又は損失(△)	16,355	△1,227	15,127	△78,098	△62,970

(注) 1. セグメント利益の調整額△78,098千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2.
	マーチャント・ バンキング事業	オペレーション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	337,306	25,907	363,214	—	363,214
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	337,306	25,907	363,214	—	363,214
セグメント利益又は損失(△)	35,882	2,006	37,888	△106,386	△68,497

(注) 1. セグメント利益の調整額△106,386千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。